

第26回 全国私立高等学校男女バレーボール選手権大会 北海道予選会
感染防止に関わるガイドライン

参加する選手・チームスタッフの留意事項

- 1 大会期間中は、各チームの責任の下、選手及びチームスタッフの検温を毎朝行う。その際、37.5℃以上の発熱があった場合は当該選手またはスタッフの出場を認めない。また、上記の検温結果を含め、大会期間中は選手及びチームスタッフ全員分の健康チェックシート（別紙）を大会本部に毎日提出する。
- 2 以下の事項に該当する場合は、自主的に参加を見合わせる。
 - (1) 体調がよくない場合（発熱、咳、咽頭痛などの症状がある場合）
 - (2) 同居家族や身近な知人に感染が疑われる方がいる場合
- 3 大会には必ずマスクを持参し、競技及び練習時以外は常時着用する。（スタッフは原則常時着用）
なお、試合中であってもベンチメンバーであるときはマスクを着用する。
- 4 大会中はこまめな手洗い、消毒に努める。（手洗い30秒以上）
 - (1) 練習前後や試合前後のトイレ利用時は手洗いをする。
 - (2) 会場入場時や体育館入場時はアルコールによる消毒を行う。（連盟が持参します）
- 5 他の参加者、大会スタッフ等との距離をできる限り確保する。
- 6 挨拶や返事、応援は距離をおいて大声ですることは避ける。
- 7 個人・チームによるゴミ（ティッシュ・テーピング等）は、ビニール袋を持参し、個人・チームで処理をする。（会場ではゴミを決して捨てない）
- 8 廊下または更衣室にある掲示物や物品等できるだけ触れないようにする。
- 9 選手・スタッフは靴袋を持参し、会場の靴箱は使用しない。
- 10 大会終了後2週間以内に新型コロナウイルス感染症を発症した場合は、チーム内で確認し、北海道私学バレー連盟(長谷川)に対して速やかに濃厚接触者の有無等について報告をする。
- 11 会場校、主催者が定めた感染防止の措置を遵守し指示に従う。

保護者の対応

今大会は無観客試合とし、体育館ならびに会場への立ち入りは禁止する。また、送迎のための長時間の駐車も禁止する。

試合に関わる対応

- 1 試合開始前、終了後の握手はしない。（向かい合っただけの礼に留める）
- 2 試合前、試合中、試合後における円陣やベンチ前の集合などでもできるだけ密や接触を避ける。ベンチ前のミーティング時はコートに入っても構わない。
- 3 練習や競技中の手のひらを合わせるようなハイタッチは控える。
- 4 ネット際など至近距離での発声は控える。
- 5 控え選手はマスクを着用する。アップゾーンは広めに設定するので、密にならないように間隔をあけること。
- 6 記録については、筆記用具は個人（自分）のものを使用する。